

静岡県森町における健康長寿の推進について



森町ロゴマーク

1 健康寿命について

- 平成22年の健康寿命（厚生労働省）において、**静岡県は、男性全国2位、女性全国1位**（静岡県が独自に算出した男女計では、全国1位）となった。

2 お達者度について（静岡県独自の指標）

- (1) 静岡県では、健康長寿をさらに推進するため、**65歳の平均自立期間（介護を受けたり病気で寝たきりになったりせず、自立して健康に生活できる期間）**いわゆる「**お達者度**」を、**市町別に算出**している。平成24年分が最新で、4回目の算出となる。

<65歳の平均自立期間「お達者度」の考え方について>

要介護度2～5でない状態を「自立している（お達者である）」と定義して、市町別に健康な期間を求めている。

- (2) 平成24年お達者度(H27.8月公表)の結果概要

- ① **静岡県全体の平成24年「お達者度」は、男性17.50年、女性20.79年**で、昨年に比べ、男性0.09年、女性0.15年伸びた。
- ② 「お達者度」が**最も長い市町は、男女ともに森町**で、男性が19.49年、女性が22.05年であった。
- ③ 過去の結果（過去3年(H22→H23→H24)で、いずれも上位に入った市町）
 - ア 男性：**森町(2位→1位→1位)**、川根本町（5位→3位→2位）、磐田市（3位→4位→5位）
 - イ 女性：**森町(1位→4位→1位)**、南伊豆町（4位→3位→2位）、吉田町（3位→2位→3位）、川根本町（2位→1位→4位）

3 「お達者度」が高い要因について(考察)

(1) 介護の認定率が高いが、軽度者が多く、比較的早い段階からサービスを利用し、自立した生活を長く続けている人が多い。

- 介護予防事業（さわふれクラブ、脳活性化教室、運動教室の開催）の推進
- ご当地体操の作成・普及

(2) 特定健診等の受診率が高く、健康に対する意識が高い。

- 特定健診の受診勧奨、特定保健指導を積極的に実施

(3) 各種ボランティア活動が盛んである。

- 介護支援ボランティア活動（ボランティアポイント制度）の推進
- 元気もりもりサポーターによる「100サロン」の開催

(4) 年間を通して、農林産物（名産品）の栽培が盛んであり、高齢になっても働く場が多い。

- 土地改良事業(水田への暗渠排水の整備等)により、水田が汎用化され、とうもろこし・レタス等の収穫が可能となり、年間を通じたローテーションにより、多様な農作物の栽培が可能（例：稲→とうもろこし→レタス等）
- 遠州森の茶、次郎柿(毎年、皇室へ献上柿)の栽培

(5) お茶農家、お茶販売店(茶商)が多く、日頃からお茶をたくさん飲む、楽しむ文化が根付いている。

- 急須でお茶を飲むまちづくりの推進
 - ・ 成人式において、急須とお茶の葉をセットにした記念品を贈呈
 - ・ 婚姻届を提出(森町に居住)した夫婦に急須とお茶の葉をセットにした記念品を贈呈
- 茶業振興協議会(町長自らが会長)の取組

(6) 森町国民健康保険における医療費の動向 (P7~10)

(7) 公立森町病院の経営 (P11~18)

- 森町病院事業の概要
- 森町病院事業の果たすべき役割
- 一般会計負担の基本的考え方
- 医療機能
- 損益計算書

<参考>

○健康寿命と「お達者度」の違い

項 目	国・健康寿命	県・お達者度
健康の定義	日常生活に支障がない (国民生活基礎調査)	要介護度2未満
基準年齢	0歳から	65歳から
公表間隔	3年ごと (H22~) H25をH27公表	1年ごと (H21~) H24をH27公表
市町別の算出	×	○

平成24年 静岡県市町別「お達者度」 (65歳の平均自立期間)

男 性					女 性				
順位	市町	お達者度	平均余命		順位	市町	お達者度	平均余命	
		年	年	順位			年	年	順位
1	森町	19.49	21.12	1	1	森町	22.05	25.09	3
2	川根本町	18.79	20.33	3	2	南伊豆町	21.95	25.65	2
3	河津町	18.49	20.45	2	3	吉田町	21.89	24.97	4
4	浜松市	18.05	19.54	4	4	川根本町	21.89	25.79	1
5	磐田市	18.01	19.28	8	5	裾野市	21.46	24.52	6
6	御殿場市	17.98	19.33	7	6	島田市	21.40	24.34	9
7	裾野市	17.93	19.13	10	7	御殿場市	21.34	24.29	10
8	吉田町	17.87	19.10	12	8	函南町	21.31	24.39	7
9	藤枝市	17.84	19.45	5	9	牧之原市	21.22	24.22	13
10	島田市	17.74	19.11	11	10	伊豆の国市	21.20	24.79	5
11	掛川市	17.74	19.36	6	11	浜松市	21.19	24.24	11
12	焼津市	17.73	19.04	13	12	三島市	21.14	23.98	14
13	湖西市	17.71	18.88	16	13	菊川市	21.12	24.24	12
14	長泉町	17.66	19.22	9	14	湖西市	21.12	23.43	27
15	袋井市	17.51	18.92	15	15	沼津市	21.05	23.76	19
16	三島市	17.45	18.64	24	16	伊豆市	20.99	23.63	21
17	菊川市	17.44	18.97	14	17	長泉町	20.96	24.36	8
18	清水町	17.39	18.71	20	18	清水町	20.93	23.91	15
19	静岡市	17.32	18.85	18	19	磐田市	20.91	23.53	24
20	伊豆の国市	17.27	18.70	21	20	袋井市	20.87	23.80	17
21	牧之原市	17.26	18.62	25	21	焼津市	20.70	23.69	20
22	西伊豆町	17.25	18.87	17	22	静岡市	20.67	23.80	18
23	富士宮市	17.19	18.66	23	23	富士宮市	20.57	23.49	25
24	伊豆市	17.13	18.33	27	24	下田市	20.54	23.46	26
25	函南町	17.11	18.80	19	25	藤枝市	20.44	23.56	22
26	下田市	17.09	18.40	26	26	掛川市	20.40	23.89	16
27	富士市	16.99	18.67	22	27	御前崎市	20.39	23.23	28
28	東伊豆町	16.83	18.21	29	28	富士市	20.10	23.54	23
29	沼津市	16.79	17.94	33	29	松崎町	20.02	22.88	31
30	南伊豆町	16.73	17.98	31	30	伊東市	19.91	23.14	30
31	伊東市	16.68	18.11	30	31	東伊豆町	19.85	22.53	33
32	御前崎市	16.62	17.95	32	32	西伊豆町	19.71	22.72	32
33	小山町	16.56	18.30	28	33	小山町	19.59	23.20	29
34	熱海市	16.47	17.69	34	34	熱海市	19.26	21.67	35
35	松崎町	16.16	17.35	35	35	河津町	18.96	21.86	34
	静岡県	17.50	18.94			静岡県	20.79	23.82	

※ 厚生労働科学研究班が公開している「平均自立期間の算定プログラム」により算定

- ・人口 H23, H24, H25 「静岡県人口推計」
- ・死亡 H23～H25 「人口動態統計」
- ・介護認定状況 H24.10静岡県国保連合会「業務統計表（確定給付統計）」
- ・生命表 平成24年簡易生命表

要介護等認定者数 年代別構成比 (26年度末)
 順位表 (静岡県内市町別)

⇒順位			⇒順位		
長泉町	14.4%	1	川根本町	91.4%	1
函南町	14.3%	2	森町	91.0%	2
東伊豆町	14.1%	3	南伊豆町	90.0%	3
清水町	13.8%	4	西伊豆町	89.7%	4
伊豆の国市	13.5%	5	小山町	89.5%	5
伊東市	13.4%	6	牧之原市	89.2%	6
富士宮市	13.2%	7	掛川市	88.6%	7
富士市			島田市	88.2%	8
裾野市			伊豆市	88.1%	9
焼津市			湖西市		
河津町			御前崎市		
沼津市	12.7%	11	菊川市		
静岡市	12.5%	12	熱海市		
三島市	12.2%	14	松崎町		
磐田市	11.7%	15	下田市	86.7%	15
浜松市			吉田町	86.6%	16
御殿場市			河津町	86.3%	17
藤枝市	11.4%	18	浜松市	86.0%	18
熱海市			袋井市	85.8%	19
袋井市			藤枝市		
下田市	10.9%	21	御殿場市		
松崎町			磐田市	85.3%	22
吉田町			静岡市	85.1%	23
御前崎市	10.6%	24	沼津市	85.0%	24
湖西市	10.5%	25	三島市	84.9%	25
菊川市	9.9%	26	伊東市	84.4%	26
伊豆市	9.7%	27	焼津市		
島田市	9.5%	28	伊豆の国市		
小山町	9.0%	29	富士宮市	83.8%	29
掛川市			富士市	83.7%	30
西伊豆町			東伊豆町		
牧之原市	8.4%	32			

高齢者実態生活に関するアンケートについて

1 アンケート調査の概要について

- (1) 名称：「健康寿命をのばそう！お達者調査」（平成26年2月に静岡県実施）
- (2) 対象：県内の高齢者（65～84歳）から21,500人を無作為に抽出
→ 15,353人の回答（回収率71.4%）
- (3) 内容：生活習慣、社会参加、健康状態、静岡県の地域資源の利用状況、社会的要因に関するアンケートを実施

2 結果の概要（「お達者度」が高い市町の特徴）について

- お達者度と関連が見られた要因を分析しており、「お達者度」が高い市町の特徴として
 - ・ 運動習慣、大豆製品摂取、緑茶摂取が多かった
 - ・ 喫煙経験者、肥満該当者が少なかった
 - ・ 世代間交流や多世代同居が多かった
 - ・ その他ボランティア活動等の社会活動や健診受診、野菜摂取等と弱い関連が見られた

3 お達者度の高い市町の特徴について、森町では、以下の結果

	男性	女性
1 運動習慣のある人が多い	×	○
2 大豆製品をとる人が多い	△	△
3 緑茶を多く飲む人が多い	△	△
4 喫煙経験者が少ない	×	○
5 肥満該当者が少ない	○	△
6 働き盛り世代との交流がある	△	○
7 多世代同居が多い	△	△
8 ボランティア活動をする人が多い	○	△
9 学習活動をする人が多い	△	△
10 毎年1回の健診を受ける人が多い	△	△
11 野菜を食べる人が多い	○	○
12 協力意識が高い	○	○

- ☆ 上記から、お達者度の高い市町の特徴12項目のうち、森町においては、
 - ・ 男性では、運動習慣と喫煙が該当しないが、他は該当
 - ・ 女性では、該当しない項目はない(全て該当)

森町国民健康保険における医療費推移（一人当たりの費用額）

合計（入院・入院外・歯科・調剤）

（円）

年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26
森町	283,101	291,727	291,802	293,401	290,587	305,766
県計	258,224	270,720	280,012	286,889	298,072	

森町国民健康保険における医療費推移（給付費合計）

合計（入院・入院外・歯科・調剤・訪問）

（千円）

年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26
森町	1,562,432	1,605,372	1,582,153	1,559,426	1,540,692	1,586,665
県計	284,664,799	295,719,344	303,654,115	306,409,885	313,294,095	

後期高齢者医療保険における医療費推移（一人当たりの費用額）

合計（入院・入院外・歯科・調剤）

（円）

年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26
森町	772,637	736,120	757,494	753,618	797,676	782,402
県計	725,840	744,781	757,983	755,105	764,435	

後期高齢者医療保険における医療費推移（給付費合計）

合計（入院・入院外・歯科・調剤・訪問）

（千円）

年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26
森町	2,523,434	2,421,098	2,511,851	2,534,416	2,693,752	2,625,742
県計	315,976,002	334,212,247	349,373,960	359,565,758	372,288,394	

森町病院事業

1. 森町病院事業の概要 (H27.4.1 現在)

公立森町病院の概要

(1) 病院の概要

- 名称 : 公立森町病院
- 所在地 : 静岡県周智郡森町草ヶ谷 391 番地の 1
- 開設年月日 : 昭和 33 年 7 月
- 診療科目 : 内科、外科、肛門外科、整形外科、小児科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、泌尿器科、リハビリテーション科、歯科口腔外科、麻酔科 (12 診療科)
- 病床数 : 一般病床 131 床
急性期病棟 2 病棟床 (急性期 76 床、地域包括ケア病床 17 床)
回復期リハビリテーション病棟 1 病棟 (38 床)
- 施設規模 : 敷地面積 20,143 m² 延床面積 9,240.95 m²
建物構造 鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造
階数 地上 3 階 塔屋 1 階
患者用駐車場台数 110 台 (内、身障者用 5 台)
- 職員数 : 181 名 (正規職員数 平成 27 年 3 月 31 日)
医師 10 名、薬剤師 5 名、臨床検査技師 7 名、放射線技師 6 名、
管理栄養士 2 名、理学療法士 15 名、作業療法士 6 名、言語聴覚士 3 名、
歯科衛生士 2 名、医療福祉相談員 3 名、医療情報技師 1 名、
看護師看護師 85 名、准看護師 1 名、事務職 7 名、その他職員 28 名
- 機関指定病院 : 保険医療機関 身体障害者福祉法指定病院 生活保護法指定病院
結核予防法指定病院 労災保険指定病院 救急指定告示病院
戦傷病者指定医療機関 医師臨床研修協力病院

(2) 沿革

- 昭和 33 年 7 月 静岡県厚生農業協同組合周智病院を買収、森町に移管し「公立周智病院」とする
- 昭和 34 年 8 月 「公立森町病院」開院 (内科、外科、産婦人科)、
一般病床 73 床、結核病床 27 床、計 100 床
- 昭和 35 年 4 月 公営企業法財務規定適用
- 昭和 35 年 6 月 一般病床 101 床、結核病床 27 床、計 128 床
- 昭和 42 年 2 月 一般病床 76 床、結核病床 27 床、伝染病床 28 床、計 131 床
- 昭和 46 年 6 月 増改築の工事着手
一般病床 118 床、結核病床 27 床、伝染病床 28 床、計 173 床
- 昭和 59 年 9 月 結核病棟廃止し、一般病床 143 床、伝染病床 28 床、計 171 床
- 昭和 60 年 3 月 伝染病床廃止し、一般病床 143 床とする

平成 9 年 3 月	森町草ヶ谷地内に全面新築移転、一般病床 140 床にて業務開始 (内科、外科、整形外科、小児科、耳鼻咽喉科、眼科、歯科口腔外科)
平成 11 年 10 月	訪問看護室を森町訪問看護ステーションとする
平成 15 年 7 月	オーダーリングシステム稼働
平成 15 年 10 月	地域医療連携室設置
平成 18 年 1 月	病院機能評価 (Ver.4.0) 認定
平成 19 年 4 月	かわせみ保育園開設 (院内保育園)
平成 20 年 1 月	磐田市立総合病院と医療連携及び協力に関する協定締結
平成 21 年 10 月	改築工事により回復期リハビリテーション病棟 (38 床) 開設 計 131 床
平成 22 年 3 月	PACS (画像管理システム) 稼働
平成 22 年 4 月	在宅療養支援病院となる
平成 23 年 11 月	365 日リハビリテーション開始 (回復期リハビリテーション病棟)
平成 24 年 4 月	DPC 病院となる
平成 24 年 9 月	在宅医療支援室設置
平成 26 年 2 月	電子カルテシステム稼働
平成 26 年 6 月	地域包括ケア病床 (4 床) 設置。 以後増床を進め平成 28 年 1 月現在 22 床

森町家庭医療クリニックの概要

(1) 家庭医養成事業 (静岡家庭医養成プログラム)

- ・平成 22 年 4 月、森町、磐田市、菊川市は、「中東遠圏域内に家庭医療専門医を養成し、地域のプライマリケアの充実」「家庭医がグループで診療による地域の救急医療、保健予防、福祉・在宅医療の充実」を目的とした家庭医養成事業 (静岡家庭医養成プログラム) を始める。
- ・平成 26 年 4 月から御前崎市が参加する。
- ・プログラム修了生 11 人 (うち森町サイト 6 人) (平成 27 年 4 月 1 日現在)

(2) 森町家庭医療クリニック

プライマリケアを行う医療機関、家庭医養成の研修施設として開設する。

名称	: 森町家庭医療クリニック
所在地	: 静岡県周智郡森町草ヶ谷 387 番地の 1
施設規模	: 延床面積 1416.56 m ² 、建築面積 745.83 m ²
構造	: 鉄筋コンクリート造 2 階建
開設年月日	: 平成 23 年 12 月 1 日
医師数	: 指導医 1 名、レジデント 3 名 (平成 26 年 3 月 31 日現在)
診察室	: 12 室
機関指定	: 保険医療機関 生活保護法等指定医療機関 労災保険指定医療機関

沿革

平成 23 年 12 月	森町家庭医療クリニック開設
平成 24 年 11 月	在宅療養支援診療所となる。

森町訪問看護ステーション

名 称 : 森町訪問看護ステーション
所在地 : 静岡県周智郡森町草ヶ谷 387 番地の 1
開設年月日 : 平成 11 年 10 月 1 日
職員数 : 6 人 (正規職員数 平成 27 年 3 月 31 日)
看護師看護師 5 名、理学療法士 1 名

沿革

平成 11 年 10 月 公立森町病院訪問看護室が森町訪問看護ステーションとなる。
平成 21 年 9 月 居宅介護支援事業所になる。
平成 23 年 12 月 公立森町病院内から森町家庭医療センター2 階に移転する。
平成 25 年 4 月 訪問リハビリテーション開始

2. 森町病院事業の果たすべき役割

町民誰もが健やかに暮らせるよう、地域に必要な医療を提供することが使命と考え、公立森町病院、森町家庭医療クリニック及び森町訪問看護ステーションが連携して、地域に密着した患者さまの生活、人生、価値観を大切にした医療を行っていく。特に需要の拡大が予想される在宅医療は密接な連携が必要不可欠となる。また、患者さまに切れ目のない医療を効率的に提供するため、公立森町病院が中心となって高次機能病院、療養型病院、介護施設、診療所などとの連携を深めていく。

引き続き地域に必要な医療を提供し、安定経営を実現し、地域に根ざした信頼される医療機関であり続ける必要がある。

【果たすべき役割】

- (1) 一般急性期及び回復期医療の入院医療の提供
 - ・急性期、地域包括ケア病床及び回復期リハビリテーション病棟の入院医療の提供を行う。
- (2) 外来医療の提供
 - ・専門的な医療を中心に提供する。（病院）
 - ・「かかりつけ医」として包括的及び継続的な医療を提供する。（クリニック）
- (3) 在宅医療の提供
 - ・在宅療養を可能にする訪問診療、往診、訪問看護を提供する。
- (4) 地域包括ケアのハブ機能
 - ・地域及び地域の医療・介護機関と有機的に連携・協働し地域包括ケアのハブとなる。
- (5) 救急医療体制の確保
 - ・初期救急医療から入院治療を必要とする患者に入院救急医療（第2次救急医療）を行う。
 - ・町内診療所との連携による救急診療体制の確立（火曜日夜間病院当直の協力）
- (6) 小児医療体制の確保
 - ・一次小児医療から二次小児医療の急性期までの診断・治療を行う。
- (7) 災害時医療の確保
 - ・町指定の救護病院であり、災害発生時に重症患者の広域医療搬送への対応を行う。中等症及び軽症患者の受入、処置を行う。
- (8) 山間地医療の確保
 - ・医療機関を有しない山間地（三倉、天方）（へき地）への医療を確保する。
- (9) 予防医療の充実
 - ・疾病や要介護状態にならないための一次予防、疾病及び生活機能低下の早期発見・治療のための二次予防を行う。

3. 一般会計負担の基本的考え方

公営企業である病院事業会計への一般会計からの負担は、地方公営企業法第17条の2（経費の負担の原則）第1項及び地方公営企業法施行令第8条の5並びに地方公営企業法施行令附則第14項で「その性質上当該地方公営企業の経営に伴う収入をもって充てることが適当でない経費」、「当該地方公営企業の性質上能率的な経営を行ってもなお、その経営に伴う収入のみをもって充てることが客観的に困難であると認められる経費」と規定されており、一般会計が出資、長期の貸付け、負担金の支出その他の方法により負担するものと定められている。この負担の基準については、毎年度、総務省の通知「地方公営企業繰出金について」に示されている。

町からの繰入金は、繰出し基準に基づき、「建設改良に要する経費」、「へき地医療の確保に要する経費」、「救急医療の確保に要する経費」、「保健衛生行政事務に要する経費」、「医師及び看護師等の研究研修に要する経費」、「高度医療に要する経費」、「院内保育所の運営に要する経費」、「建設改良費の企業債元金・利息」等の経費に充てている。なお、森町病院事業は、企業会計である繰出し基準に基づく繰入により病院経営を安定化させることが原則であるが、町内の医療供給体制と高齢化の進行という地域特性もあり医師確保、訪問診療、訪問看護といった医療に対する負担も大きいため、基準外の繰入も受けることで、現状での経営が成り立っている。

森町病院事業は、総務省の基準に基づく繰出金（繰出基準分）と、医師確保、訪問診療、訪問看護などの地域特性による負担の繰出金（政策医療分）を受け経営の安定を図る。

一般会計からの繰入金推移（単位：百万円）

	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
繰入金実績	510	630	580	560	540	500	500	500	520
うち基準外	217	313	223	267	179	124	71	90	98

4. 医療機能（実績）

		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
一般病床	病床数	140	140	140	140 → 93	93	93	93
	病床利用率（%）	70.7	82.6	88.9	88.2	85.7	90.4	86.0
	平均在院日数（日） （亜急性、地域包括ケア除く）	15.9	17.6	15.0	14.9	14.1	15.6	16.4
	一日平均入院患者数（人）	99.0	96.2	82.6	82.0	79.7	84.1	80.0
	入院単価（円）	30,346	31,531	33,615	36,578	37,652	36,885	37,088
回復期	病床数	0	0	0	0 → 38	38	38	38
	病床利用率（%）							

回復期
リハ

5. 損益計算書

単位：百万円

	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
総収益	2,233	2,426	2,604	2,717	2,816	2,881	2,821
医業収益	1,840	1,962	2,173	2,324	2,422	2,515	2,400
医業外収益	392	455	430	393	390	363	417
特別利益	0	9	1	0	4	3	4
総費用	2,356	2,542	2,675	2,804	2,832	2,908	3,038
医業費用	2,194	2,337	2,495	2,651	2,662	2,735	2,850
医業外費用	157	164	152	144	165	171	180
特別損失	4	41	28	9	5	2	8
医業利益	△ 354	△ 375	△ 322	△ 327	△ 240	△ 220	△ 450
経常利益	△ 119	△ 84	△ 44	△ 78	△ 15	△ 28	△ 213
純利益	△ 123	△ 116	△ 71	△ 87	△ 16	△ 28	△ 217

※当院は平成26年度から新地方公営企業会計制度を適用しています。しかし、数値の変化を見やすくするために平成25年度以前の会計制度に基づいて算出した数値で記載しています。

繰入金

	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
収益勘定繰入金 (損益計算書) 医業外収益 他会計繰入金	382	442	420	375	357	346	356
資本勘定繰入金 (貸借対照表)	198	118	120	125	143	154	164

計

平成26年度 市町別患者数 <外来>

年齢	人数	割合
森町	53,372	75.7%
袋井市	5,490	7.8%
掛川市	6,240	8.8%
磐田市豊岡地区	682	1.0%
浜松市春野地区	2,402	3.4%
その他	2,355	3.3%
合計	70,541	